

沼津市立病院新改革プラン評価委員会（第1回）の開催結果

1.開催趣旨

平成28年度末に策定した「沼津市立病院新改革プラン」では、病院事業の経営改革に総合的に取り組むことにより、2020年度（平成32年度）までに経常収支を黒字化することを目標としている。

当院の各年度の取り組みについて有識者から点検・評価を受け、経営改善の着実な推進を図るために、評価委員会を開催。去る8月10日に第1回評価委員会を開催し、計画初年度の取り組みについて意見を伺った。

2.概要

(1) 評価委員会委員

	氏名	所属	職	備考
1	上西 紀夫	公立病院(法全部適用)	病院長	あり方検討委員会委員長
2	田中 一成	公立病院(独立行政法人)	病院長	あり方検討委員会委員
3	西方 俊	沼津医師会	会長	

(2) 委員からいただいた意見（主なもの）

○機能及び役割について

- ・市立病院医師と地域の開業医などが、もっと交流する機会を増やすべき。
- ・市立病院が地域の開業医に患者さんを紹介する「逆紹介率」を引き上げ、患者さんを紹介し合える関係構築が必要である。
- ・病院のホームページについては、専門業者に委託するなど、より見やすくする工夫が必要である。

○経営の効率化について

- ・診療報酬制度などの講習会を自院で実施することにより、職員一人一人が「病院がどのような状況にあるのか」理解する機会を持つことが重要なため、このような取り組みを継続して実施していくことが必要である。
- ・医療機器や医療材料の購入について、値引き交渉を行い、経費削減に努めていくことが必要である。

○経営形態の見直しについて

- ・独立行政法人化については、自治体の負担が大きい。また、給与体系を変えない独立行政法人化であれば、地方公営企業法の全部適用とあまり変わらない。

3.今後の取り組み

委員からは、様々な取り組みを行い努力をしているが、効果が出てくるのは少し時間がかかる、などの評価をいただいたことから、引き続き、市民公開講座の開催やホームページなどのリニューアルに取り組み、経営改善に努めていく。